

# 平成30年度 公共施設の未来を考えよう！公共施設に関するアンケート調査結果 概要版

## (1) 調査目的

湯沢市では、人口減少や少子高齢化に伴い市民ニーズが変化する中で、過去に整備してきた公共施設等の老朽化が進み、今後どのようにしていくかが大きな課題となっています。

平成29年2月には公共施設等の総合的な管理を推進するため「湯沢市公共施設等総合管理計画」を策定し、現在は、平成31年度末を目途に個々の施設の方向性について具体的に示す「公共施設再編計画」の策定を進めています。

再編計画策定に向けた検討に当たっては、様々な立場や世代、地域の方々からご意見を伺うことが重要と考え、より広く市民の皆様からご意見を伺うために地域別（旧市町村別）にアンケート調査を実施することとしました。

## (2) 調査概要

- 調査方法 郵送による調査依頼及び返信用封筒による調査票回収
- 調査対象者 平成30年6月1日在住の15歳以上の湯沢市民
- 調査対象者数 3,200人

(地域別の内訳)	湯沢地域	825人
	稲川地域	817人
	雄勝地域	808人
	皆瀬地域	750人

- 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出し、「湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例」により若者の抽出者数を補正
- アンケート期間 平成30年8月7日～8月29日
- 調査票 A4版 8ページ  
設問15問（皆瀬地域のみ14問）及び自由意見

## (3) 回答率等

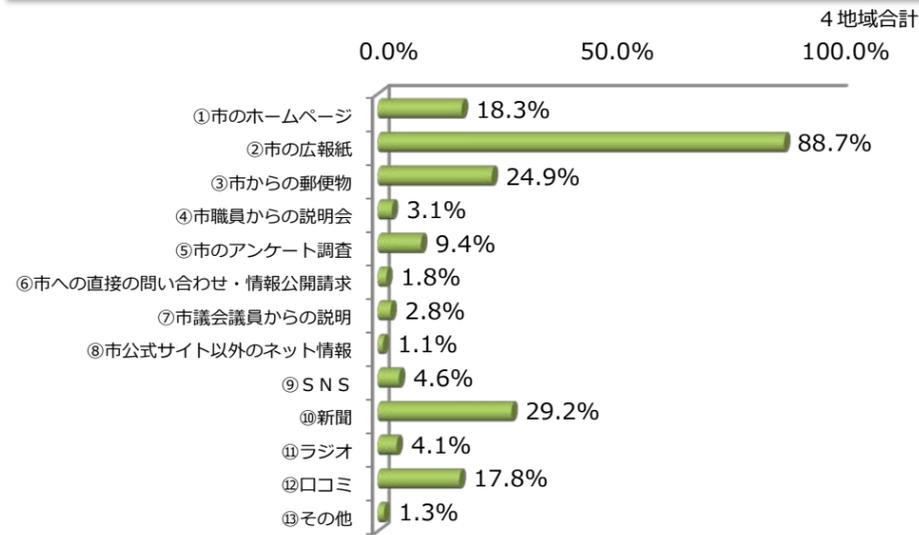
- 調査回答者数 980人
- 有効回答者数 977人
- 無効回答者数 3人 ※全無回答のため
- 回答率 30.5%
- 地域別回答人数及び回答率
 

湯沢地域	254人	30.8%
稲川地域	261人	31.9%
雄勝地域	238人	29.5%
皆瀬地域	224人	29.9%

## (4) 集計方法

- ・ 回答比率は、端数処理により、個別に積み上げたパーセントの合計が100%にならない場合や、内訳の合計が表示されている値と一致しない場合があります。
- ・ 回答比率の分母となる回答者数は「n」として掲載しています。
- ・ 複数回答の場合は、回答総数を「MA」として掲載しています。

## 《問4》公共施設の再編を含めて、市政に関する情報を得る方法は、どれが多いですか。（3つまで）※皆瀬地域は問3

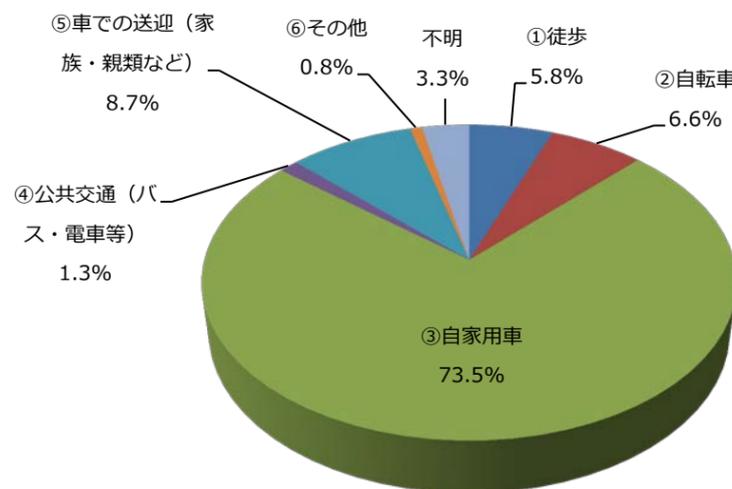


POINT 「市の広報紙」が88.7%と最も高い。次いで「新聞」「市からの郵便物」となっている。市からのお知らせによる情報の取得が多い。

## 《問6》よく利用する公共施設への主な交通手段は何ですか。

※皆瀬地域は問5

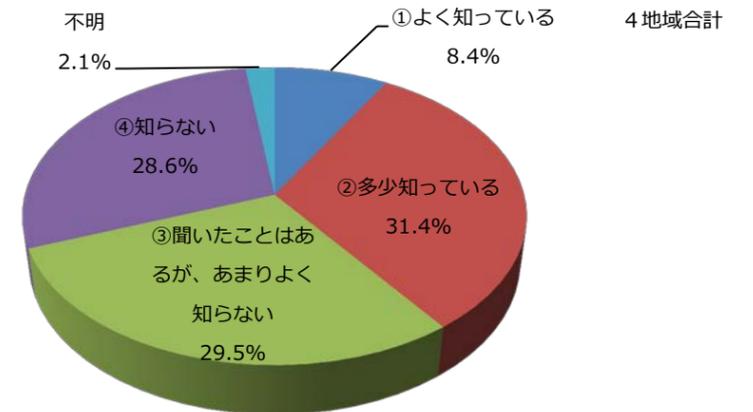
	n	①	②	③	④	⑤	⑥	不明
全体	977	57	64	718	13	85	8	32
		5.8%	6.6%	73.5%	1.3%	8.7%	0.8%	3.3%
湯沢地域	254	6.3%	12.2%	70.5%	0.8%	7.5%	0.8%	2.0%
稲川地域	261	7.7%	4.2%	73.9%	1.1%	7.3%	0.4%	5.4%
雄勝地域	238	7.1%	7.1%	69.3%	0.8%	10.5%	1.7%	3.4%
皆瀬地域	224	2.7%	2.2%	81.3%	2.7%	9.8%	0.4%	0.9%



POINT 約4人に3人が「自家用車」を利用している。

## 《問7》市が公共施設の再編に取り組んでいることをあなたはご存知ですか。 ※皆瀬地域は問6

	n	①	②	③	④	不明
全体	977	82	307	288	279	21
		8.4%	31.4%	29.5%	28.6%	2.1%
湯沢地域	254	8.3%	28.3%	32.7%	29.1%	1.6%
稲川地域	261	8.4%	27.2%	27.6%	32.6%	4.2%
雄勝地域	238	9.2%	32.8%	26.5%	30.3%	1.3%
皆瀬地域	224	6.3%	17.0%	26.8%	48.7%	1.3%

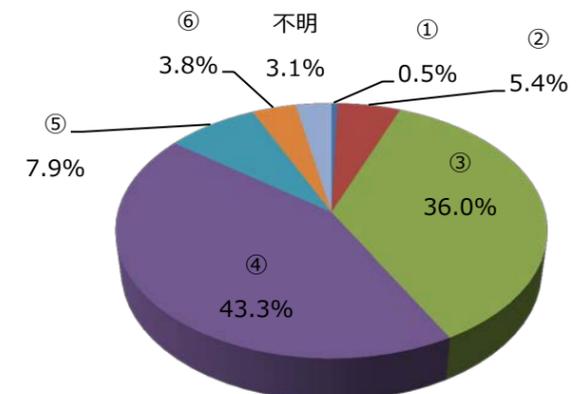


POINT ③と④の知らない人が約6割を占める。①と②の知っている人は約4割となっている。

## 《問9》今後、少子高齢化が進捗し、人口と税収の減少が見込まれる中、すべての公共施設をこれまで同様に維持していくことは、非常に厳しい状況です。主な公共施設の管理運営費等を見たらうで、今後どのようにしていくことが望ましいと考えますか。 ※皆瀬地域は問8

- ① 公共施設の量はまだまだ不足しているため、借金をしてでも施設を増やすべき
- ② 今ある公共施設はすべて必要なので、他の行政サービスを廃止・縮小してでも、現状の施設を維持すべき
- ③ 公共施設の必要性を見直し、人口や税収など身の丈にあった公共施設の質・量にするべき
- ④ 必要性の低い公共施設については、積極的に複合化（異なる機能をもつ施設を一つの建物にまとめること）や集約化（同じ機能をもつ施設を一つに統合すること）などを進めるべき
- ⑤ 近隣市町村や国・県、民間企業と連携を進めながら、公共施設の量を減らしていくべき
- ⑥ その他

	n	①	②	③	④	⑤	⑥	不明
全体	977	5	53	352	423	77	37	30
		0.5%	5.4%	36.0%	43.3%	7.9%	3.8%	3.1%
湯沢地域	254	0.4%	6.3%	30.7%	47.2%	10.2%	3.1%	2.0%
稲川地域	261	0.8%	1.9%	40.2%	42.9%	7.7%	3.1%	3.4%
雄勝地域	238	0.0%	5.5%	39.9%	42.4%	6.7%	2.9%	2.5%
皆瀬地域	224	0.9%	8.5%	33.0%	40.2%	6.7%	6.3%	4.5%



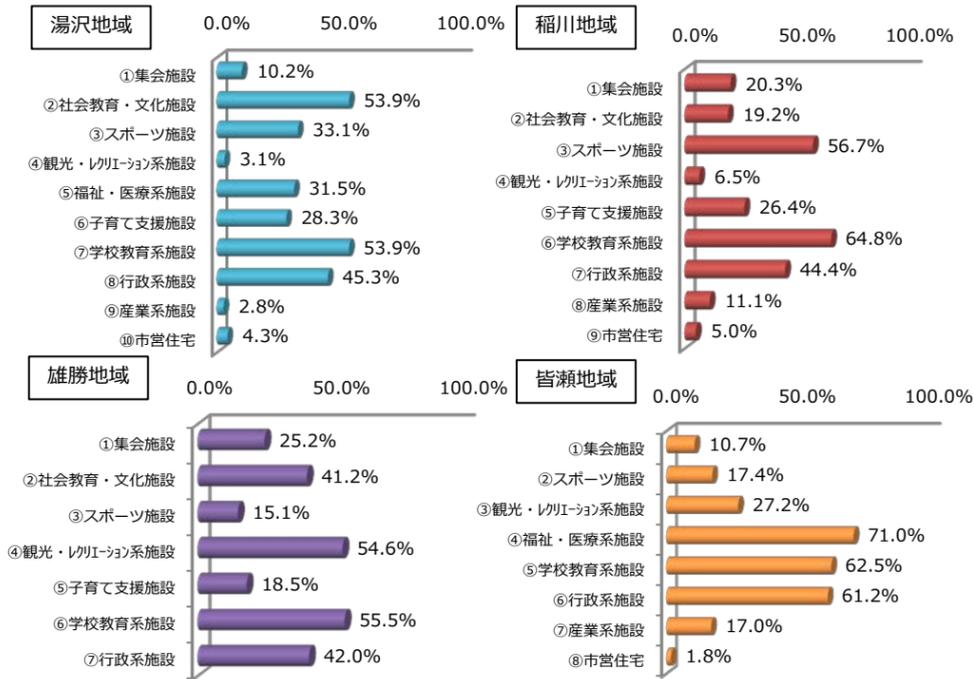
POINT ③の見直しや④の複合化・集約化の意見が全体の約8割を占める。

魅力ある公共施設を次の世代に！



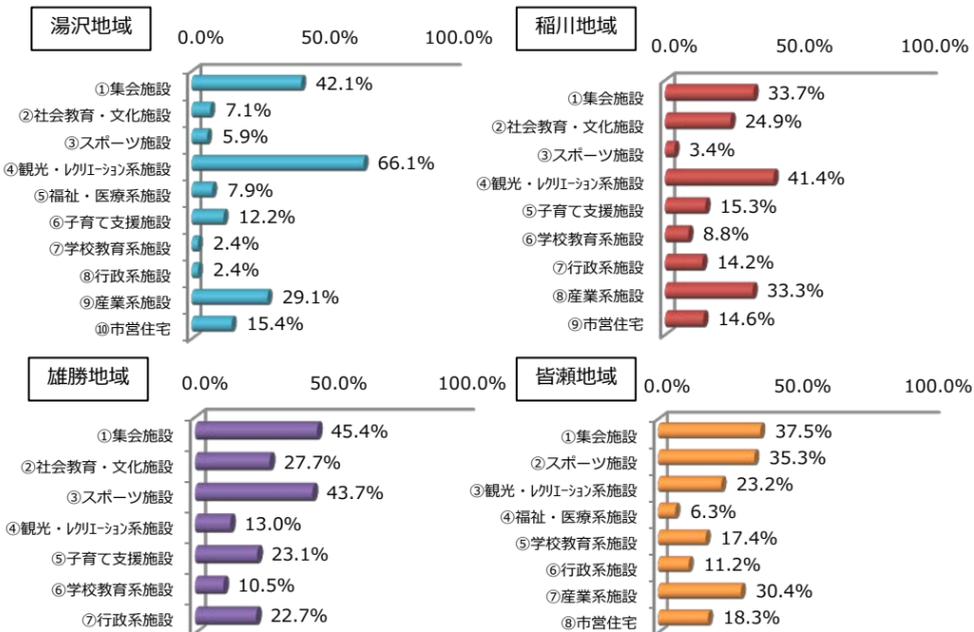
# 平成30年度 公共施設の未来を考えよう！公共施設に関するアンケート調査結果 概要版

## 《問10》各地域で将来にわたり、優先的に残すべきと考える公共施設は何ですか。（3つまで）※皆瀬地域は問9



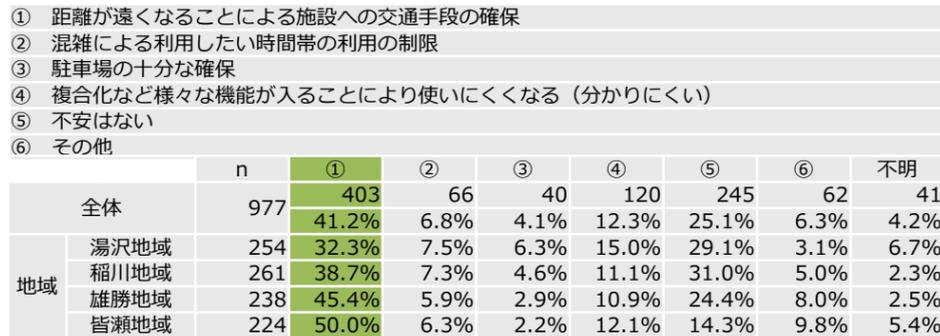
**POINT** 各地域で施設の優先度は異なり、地域性が伺えるが、共通して「学校教育系施設」の意見が多い傾向にある。

## 《問11》どうしても現状の公共施設を維持できない場合、施設を減らすことの検討も想定されます。どうしても施設を減らさなければならなくなった場合、各地域で将来的に廃止してもやむを得ないと考える施設は何ですか。（3つまで）※皆瀬地域は問10



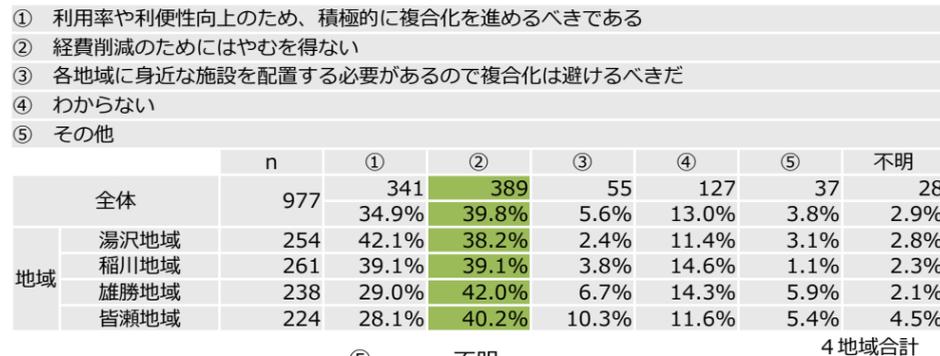
**POINT** 各地域で施設の優先度は異なり、地域性が伺えるが、「集会施設」の意見が比較的多い傾向にある。

## 《問12》公共施設が減ることになった場合、どのようなことに不安を感じますか。※皆瀬地域は問11



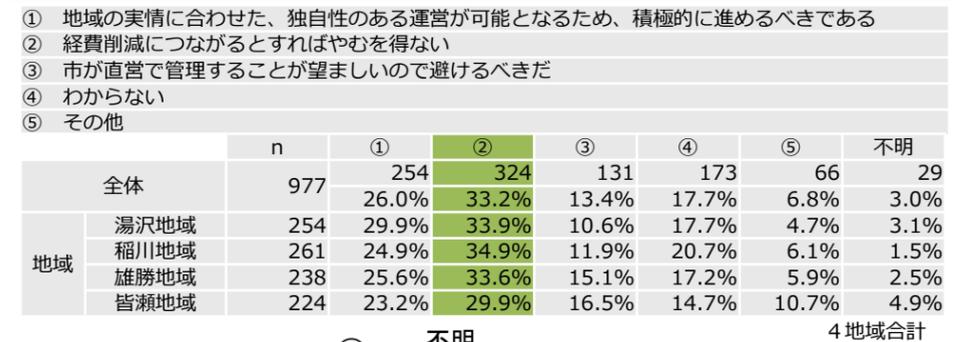
**POINT** 「距離が遠くなることによる施設への交通手段の確保」が約4割となっている。一方、「不安はない」も4人に1人となっている。

## 《問13》施設にかかる維持費用を削減する方法として「複合化」がありますが、今後、このような方法をうまく活用して施設の量を減らしていくという考え方についてどう考えますか。※皆瀬地域は問12



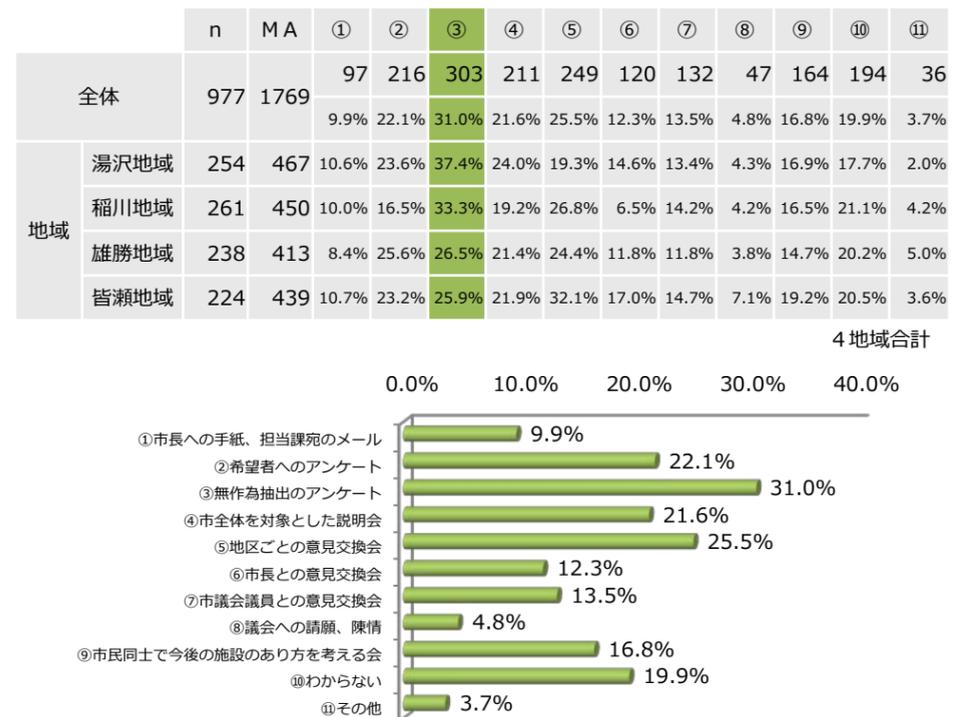
**POINT** どの年代でも①、②の意見が多い。①と②の肯定（容認）は、74.7%と4人に3人いるのに対し、③の避けるべきとしたのは5.6%となっている。

## 《問14》施設の管理運営には、市の直営管理や指定管理者制度（公の施設の管理を市が指定する団体に管理してもらう制度）、民営化など様々な形態がありますが、地域の身近な施設を、地域住民（自治組織など）が自ら管理運営することについてどう考えますか。※皆瀬地域は問13



**POINT** ①、②の肯定（容認）意見が約6割を占める。

## 《問15》公共施設の再編を含めて、市政に関する意見を提出したり、議論に参加する場合の方法として、あなたが参加等してみたいものは何ですか。（3つまで）※皆瀬地域は問14



**POINT** 気軽にできる②、③のアンケートを望む声が多いが、⑤～⑦、⑨の対話による市政への参加を望む声も比較的多い。